

学ぶ環境

今日、医療技術は高度化し、種々の機器と情報を扱うことが多くなります。また、複雑多岐な人間を総合的に理解し、あらゆる健康の段階にある人々に対して、それぞれに必要な看護の提供ができなければなりません。

本学院の学習施設は、看護の専門職となるために必要な設備を整えています。

◆中庭ではサツキやヒメシャラ、ドウダンツツジなど12種類の花や木を管理しています。



◆正面玄関を入ってすぐのホールと中庭
中庭を見渡せるラウンジにナイチンゲール像があります



教室



◆ 各学年1クラスです。



図書室・視聴覚室

◆図書室

- ・蔵書約1万3千冊（専門誌約9千500冊）、看護系雑誌22種類。毎年、計画的に新しい図書を追加購入しています。
- ・求人資料も配置しており、自由に閲覧できます。

◆視聴覚室

- ・DVD等の視聴覚教材があります。自己学習ができるスペースがあり、特に実習前は学生が多数出入りします。





学習室（ゼミ室）

- ◆ 小グループでの学習用に、6つのゼミ室があります。

調理実習室

- ◆ 入院患者さんの制限食や離乳食などの調理実習などを行います。



看護実習室



看護実習室



- ◆ 病院と同じような環境・設備があり、基本的な看護技術の訓練をします。
- ◆ 看護技術を体験できるモデル人形も多数整備し講義・演習で活用します（血圧測定・採血モデル、瞳孔反射・血圧測定・脈拍・聴診（呼吸・心音・腸音）を体験できるモデル、妊婦体験ジャケット、高齢者疑似体験セットなど）



在宅看護実習室

- ◆ 一般の住宅と同じように、居間、台所、寝室、浴室、トイレがあります。
- ◆ 訪問看護分野など、自宅での看護を学びます。



スクールカウンセリング

- 定例で相談日を開設し、学生の心理的な相談に対応しています。

| | |
|-----------|------|
| 学院内での面談 | 1回／月 |
| オンラインでの相談 | 1回／月 |

*学院内での面談は長期休暇中を除く

- 新年度にはスクールカウンセラーとの個別面談（全員）を実施し、学院生活のアドバイス等を行います。



保護者面談(全員)

- 長期休暇中、Webにより全学生の保護者と面談を実施します。

担任と副学院長または教務主幹の2名体制で、学習状況や今後の予定などについて説明し、保護者からの相談にも対応します。Webを活用しお互い顔を見ながら面談することで、話しやすい雰囲気づくりに努めています。

自宅でのWebの接続や操作方法は事前に説明書を送付します。学生が接続のサポートをしてくれることも多いです。



学習の様子



▲入学式



▲3年生 実習前の教員からの応援メッセージ



▲1年生 ユニフォーム合わせ



▲卒業式

学習の様子

● 電子テキストの導入

R 5 入学生から電子テキストを導入（副読本を除く）しています。

メリット

- 10数冊のテキストの情報を1台のタブレットで見ることが出来る
- 通学や実習など持ち運びしやすくスペースをとらない
- いつでもどこでも使える
- 膨大な情報量の中から検索できる



◀紙テキストのイメージ
(医学書院ホームページから)

学習の様子



▲1年生・食事援助の演習



▲2年生・採血の演習



▲2年生・看護方法論演習（包帯と三角巾）



▲3年生・統合実習報告会

学習の様子



1年生・バイタルサイン（血圧、体温、脈拍、呼吸）の測定演習



患者役の地域住民の皆さま

ポイント

学生数が少ないため、地域住民の方に患者役（模擬患者）を依頼し、ご協力いただくこともあります！とても学びが深まります。

自治会活動



学生が主体となり、学年を超えて交流したり、ボランティア活動を行います。



▲新入生の学院案内



▲新入生歓迎会



▲学院ホールの飾り付け（クリスマス）



自治会活動

● 道立江差病院との交流

R5年度は1・2年生を中心に作成したクリスマスカードの配付とともに、5年ぶりとなるハンドベル演奏を行いました。



ボランティア活動

かもめ島海浜清掃



江差高校
体育祭救護

熱中症予防など



ポイント

積極的に地域の行事に参加しています！

かもめ島まつり



来場者アンケート
の配付・回収

江差町防火防犯パレード



町内警戒活動に同行



高齢者買い物支援



江差高校の生徒と一緒に、
スーパーでお買い物をする高齢者のお手伝い

開かれた学院づくり



●江差町の町づくり会議「ネクストイノベーション」への参加

職員や学生がボランティアで参加し、町内の関係機関と一緒に町の課題や対応策を考えています。プロジェクトの一環で高看まつりにもご参加いただきました。

きずなプロジェクトと命を守るプロジェクトの取り組みをご紹介します☆

☆きずなプロジェクト☆

困り事 地域との繋がりが少なくなってきたし、子供たちと話す機会もなくなってしまった。

そこで…7月22日(土) 江差高等看護学院で開催された、地域型オープンキャンパス『江差高看まつり』で、江差高校とまちカフェ江差の3団体がコラボしました！会場設営からカレーライスの調理・提供を行い、その結果、多世代交流や地域に根差す活動のきっかけ作りに繋がりました。

江差高等看護学院



地域に開かれた学校運営もできた。

江差高校



食についての学びも広がられた。

NPOまちカフェ江差



地域住民にNPO活動のPRもできた。

地域型オープンキャンパス(江差高看まつり)

看護師を目指す中高生を対象にしたオープンキャンパスのほか、子どもからお年寄りまで、より多くの方々に江差高看を実際に見て、知っていただく機会とするため、令和5年度から「地域型オープンキャンパス(江差高看まつり)」を開催しています。

学生自治会によるキャンパスツアーやミニ縁日等を実施するほか、関係団体のご協力を得て、様々なブースを設置し、多くの方々のご来場をいただいています。

